

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	箱田 裕司	所属	京都女子大学
研究会等名称	Cognitive Control 研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>第1回目の参加者数</p> <p>会員 17名 (うち認定心理士 名)</p> <p>非会員 4名 (うち認定心理士 名)</p> <p>第2回目の参加者数</p> <p>会員 12名 (うち認定心理士 名)</p> <p>非会員 6名 (うち認定心理士 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>Cognitive Control 研究会は2回にわたり開催した。</p> <p>◆第1回目 開催日 2018年6月2日(土) 16:00~18:00 開催場所 京都女子大学</p> <p>話題提供者 箱田裕司(研究会代表 京都女子大学 発達教育学部)と柳岡開地(京都大学大学院教育学研究科)</p> <p>箱田は「言語遮蔽効果、場依存性・独立性、ウィーク・セントラル・コヒーレンス(WCC)の背景にあるもの」と題して、まず研究会の趣旨説明を行い、その後、Cognitive Control と関連の深い、認知スタイルとグローバル・ローカル処理の関係について、話題提供を行った。次に、柳岡は「スクリプトの獲得と柔軟な遂行を支える発達メカニズムの検討」と題して、幼児期におけるスクリプトの獲得とその柔軟な遂行を可能にする認知的要因について報告を行った。</p> <p>◆第2回目 開催日 2018年11月3日(土) 16:00~18:00 開催場所 京都大学</p> <p>話題提供者 小林正法(関西学院大学大学院 文学研究科 応用心理科学研究センター)と竹林ひかり(京都大学大学院 人間・環境学研究科)</p> <p>小林は、「ネガティブ記憶の検索誘導性忘却とその個人差」と題し、検索誘導性忘却の説明メカニズムとして、認知コントロールを介して妨害する記憶が抑制されることで生じるとする inhibition 説などの諸説の検討を行った研究について報告を行った。竹林は、「グローバル・ローカル処理が場依存・場独立型認知スタイルへ及ぼす影響」と題して、Navon 図形をもちいてグローバル・ローカル処理を行うことが、その後の認知スタイル課題(ロッド・フレームテスト)の成績に及ぼす影響について検討し、認知スタイルの個人差が安定した個人的特性ではなく変動しうるか状態あるいはモードであるということについて報告を行った。その後、熱心な議論が行われた。</p>		

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
第2回 Cognitive Control 研究会				
研究集会開催日： 2018年11月 3日(土)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	森田愛子	広島大学	○	
2	川島朋也	神戸大学	○	
3	藤井美紗	京都府立医科大学		
4	竹林ひかり	京都大学	○	
5	柳岡開地	京都大学	○	
6	堀内孝	岡山大学	○	
7	石黒 翔	京都大学		
8	西山 慧	京都大学	○	
9	谷田勇樹	大阪大学	○	
10	坂本奈緒	京都女子大学		
11	木下和真			
12	服部郁子	立命館大学	○	
13	小林正法	関西学院大学	○	
14	山口亞希子	京都女子大学		
15	前田紗綾	京都女子大学		
16	岩原昭彦	京都女子大学	○	
17	齊藤智	京都大学	○	
18	箱田裕司	京都女子大学	○	
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

## 研究集会参加者リスト

＜研究会名＞				
Cognitive Control 研究会				
研究集会開催日： 2018年 6月 2日(土)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	石王敦子	追手門大学	○	
2	森田愛子	広島大学	○	
3	佐伯恵里奈	神戸山手大学	○	
4	川島朋也	神戸大学	○	
5	西田勇樹	立命館大学	○	
6	大庭 輝	京都府立医科大学	○	
7	藤井美紗	京都府立医科大学		
8	岡本真彦	大阪府立大学	○	
9	織田 淳			
10	服部雅史	立命館大学	○	
11	松本亜紀	北九州市立大学	○	
12	西山亮二	関西学院大学	○	
13	竹林ひかり	京都大学	○	
14	柳岡開地	京都大学	○	
15	堀内孝	岡山大学	○	
16	北神慎二	名古屋大学	○	
17	堀井まりこ	京都女子大学		
18	前田紗綾	京都女子大学		
19	岩原昭彦	京都女子大学	○	
20	齊藤智	京都大学	○	
21	箱田裕司	京都女子大学	○	
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2019年 4月 2日

日本心理学会研究会 2018 年度会計報告書

研究会名称 Cognitive Control 研究会

研究会番号 18014

助成金額 40,000円

年月日	項目	金額
2016年8月1日	返金 (日本心理学会)	¥40,000

---

支出合計 ¥40,000